

漢字は日本人より英米人のほうが学びやすい？！

「でも、アメリカ人やイギリス人が漢字をすべて英語で読むなんて、いくらなんでも無理な話では？」と考える人も多いと思います。ところが実は言うと、日本語ほど漢字で表すのが難しい言語はなく、それに比べれば、英米人が漢字を英語で読むほうが、ずっとやさしいのです。どういうことが詳しく説明してみましょう。

私たち日本人は“足”も“脚”も“あし”と読みますから、両者の違いを知らない人も多いものですが、英語では“足”はfoot、“脚”はlegと、最初から別々の言葉があります。ですから、ふつうの日本人が正しく理解できない“足”と“脚”の違い(足は膝から下の部分、脚はあし全体のこと)も、英米人だったらすぐに理解し正しく使い分けることができます。

同様に、“みる”と読む漢字に“見、看、視、観”などがありますが、やはりその違いを知らない人が多いと思います。しかし、英語にはlook、see、watch、observe など、それぞれの漢字に当たる言葉がきちんと存在していますから、“見”はlook、“看”はseeというように、漢字と英単語を一対一で対応させて学ぶことができます。

また、私が中学で最初に学んだ英語は、This is an ox でした。「これは一頭の牛です」と訳しましたが、ox は漢字の“^{かい}”に当たり、「去勢された雄の牛」のことを言います。英語には、漢字の“牛”、つまり日本語の“うし”に当たる言葉はありません。あるのはcow(牝^{めうし})とbull(牡^{おうし})と

ox、oxen(ox の複数形)です。

このように、英語には(独、仏語なども)日本語にない言葉が沢山ありますが、漢字は世界一豊かに言葉を備えていますので、どんな国の言葉でも、大抵、漢字で表現できます。

また、漢字の本家である中国語の文法は、日本語よりも欧米語の性格にずっと近いものです。ですから、もし欧米人が漢字を使うようになれば、私たち日本人が戻ったり飛び越したりしながら読む漢文も、そのまま意味を理解したり、あるいは英語の文章を漢文とほぼ同じ形で表現することすら可能なのです。